

全国商工新聞

長岡版

—発行編集—

長岡民主商工会
長岡市中沢167-1
☎ 33-5948

2021年
2月15日
第2040号

新型コロナウイルス対策
融資・国保料減免など
民商に相談を

確定申告期限延長も早めの作成を 3つの署名と2つの募金にご協力を

先日、国税庁より確定申告期限の延長が発表されました。これにより所得税・消費税の申告期限は、4月15日(木)に延長されます。

長岡民商は、3月中旬以降の業務・運動予定などを踏まえ、可能な限り3月12日(金)までに終了させたいと考えています。先週(2月8日号)の商工新聞長岡版に掲載した今回の申告の変更点・注意点を参考にして、早めに申告書を作成しましょう。

長岡民商は春の運動で3つの署名と2つの募金に取り組んでいます。いずれも重要な署名、必要な募金です。申告相談の班会・支部会や今後の行動の中でも結構です。普段民商の活動に参加できない会員の方も、署名と募金を通じて運動に参加してください。署名・募金は全ての会員の皆様から取り組んでいただきたいと思えます。

署名

1. 消費税10%を撤回し、減税を求める請願
2. 中小業者の新型コロナ危機打開を！緊急請願書名
3. 9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名

募金

1. 春季運動資金募金
毎年、確定申告の時期に取り組んでいます。コロナ禍で大変な時ですが、長岡民商財政のため、ご協力をお願いします。
2. 全商連会館建設募金
全商連会館の老朽化に伴う建て替え(建設)工事が行われました。長岡民商では2019春・秋、2020春と取り組んできました

が、この募金は今回で最後となります。皆様の力をお貸しください。



持続化給付金 期限(1月31日)後の申請方法について

持続化給付金の新規申し込み受付が、1月31日をもって締め切られました(1月31日までに申し込み受付が済んでいる場合は、2月15日まで給付金申請手続きが可)。その一方、締め切り後も全国の民商には申請を希望する相談が寄せられています。

締め切りに間に合わなかった申請希望者の取り扱いについて、全商連が日本共産党の清水忠史衆院議員を通じて中小企業庁に確認したところ、「各地域のサポート会場に、1月31日の期限に間に合わなかった理由を申し出て、その理由が合理的であれば、申請期限延長の申し込みを受け付ける。申請期限延長の申し込みが認められれば、給付金申請を受け付ける。手続きの詳細については、順次変更される可能性があるため、申請サポート会場で確認してください」との回答を得ました。

これから新たに申請を希望する場合は申請サポート会場を利用することとなります。これまでは、申請サポート会場の利用には持続化給付金事務局への予約が必要でした。今回も予約が必要と思われるので、まずは持続化給付金事務局に、いつまでに申し込みたいのか等も含め、早急に問い合わせのうえ、予約してください。

持続化給付金事務局TEL (全国共通)
0120-279-262

商工新聞長岡版の発行について

確定申告相談が本格化し、今後1ヶ月間、3月中旬まで、ほぼ毎日申告相談の集まりが予定されています。2人の事務局員はこれに忙殺されるため、長岡版を休刊する場合があります。あらかじめご了承ください。